

## 2年生(第19期生)の卒業制作、いよいよスタート!

### 注目の「水車小屋」班に、特別インタビュー!

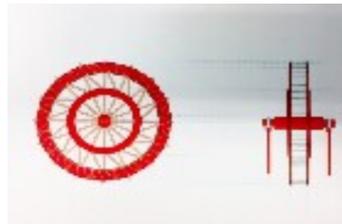


打ち合わせ中の田中さん(左)と竹山さん

2年生(第19期生)の授業で「卒業制作ゼミ」が始まりました。関昌孝統括講師と、小林直人指導員が担当しています。カレッジでの2年間の学びの集大成であり、来年2月には発表会が公開で行われます。6月12日の「卒制ゼミ」では、グループごとにテーマと計画を発表しました。中でも、もっとも大がかりな作品制作に挑む「水車小屋」班の竹山綾(りょう)さん、田中雅憲さん、宮勇太さんに聞きました。

2グループの思いが一つに!

(竹山) 最初、金沢のシンボル、鼓(つづみ)門が候補でした。しかし、北陸新幹線が開通し、ブームになり、面白くないので、他の構造物を探していました。これに規矩術使って何かしたいという人たちの思いを合体してできるものということで、水車小屋に行き着きました。



水車の完成イメージ

1. サイズは原寸の4分の1。それでも高さは1.5m程度なので、それに迫力が出せます。小屋と水車の大きさのバランスは厚紙で模型を作ってみるまで確認しました。決まりがないのが水車。水を受けて回るといのは非常に単純な構造なんです。「佐渡エナジー」のウェブサイトで水車について色々学習しました。

## 当面の見学会&説明会

### [見学会]

①7月24日(金) ②8月28日(金)  
会場:「江東実習場」  
時間: 13時~15時

### [学校説明会]

7月22日(水)  
会場:「池袋本校舎」  
時間: ①14時~、②19時からの2回

### [カレッジ専用求人票]

新規に従業員を雇用し、カレッジへ研修生を派遣を考えている事業所の皆さん。「求人票」をカレッジへください。用紙はカレッジからお送りします。

上記日程以外の見学、個別説明も可能です。お気軽にご連絡ください。

TEL 03-5950-1771  
東京建築カレッジ 西岡、吉川

## デザインは?

普通のは作りたくない。シンプルになりがちだから。複雑な水車を作りたい。鼓門の要素を応用したい。(デザイン担当の田中さん)

## 進行状況について

(竹山) 企画構想、工程計画の策定、今のところ順調です。週一回、ミーティングをやっています。が、作業時間の配分はちょっと心配。材料が届く7月中旬から作業を始めます。芯はケヤキにこだわりたい。僕らが造るのは、模型ではなく、実物を小さくしたものです。実用性を考えるので、水に強いケヤキを使いたいです。

## 仲間を大切に

(宮) 最初、自分がやりたかったのは水車ではありませんでした。鼓門をやりたいからなんです。一年のときから考えていました。でも、まさか、金沢に新幹線が開通するなんて知らなかったし(笑)、テレビではばんばん流れて



宮さん

## 卒業後の協業も視野に!

# 7/10に第4回卒制ゼミ!

しまったので、鼓門の案はなくなりました。

今のメンバーは、この鼓門を考える前から、卒業しても仕事でつながりたい、と思えるメンバーです。卒制の課題をクリアするためのチームにとどまらない感じですよ。皆さん、ぜひ、発表会に来てください。

設計屋、大工、クロス屋、営業兼大工の5人がどこまでやっていけるか、自分たちの限界にチャレンジしていったらなと思っています。途中、藤田が大工の道を極める上で大切な事を見つけ、メンバーから外れましたが、自分引き続き藤田を助けていきます。  
(※大西智子さん、徳島友之さんも水車小屋班のメンバーです)

## 意欲的な構想 いよいよ製作 本番へ。

卒制は、その他にも意欲的プランが進行中です。「入母屋屋根班」（工藤拓哉さん、羽鳥大樹さん、小番徐音さん）、「床の間班」（井上匠さん、竹内耀さん、南貴大さん、大内嘉さん、大野成美さん）、「自宅のリノベーション計画」（新川小百合さん）、「組子発想の行灯（あんどん）」（藤田悠希さん）、「アルファノ邸班」（アルファノ・ドメニコさん、山中陽子さん）。



7月10日（金）には「卒制ゼミ」第4回の授業が行われます。見学歓迎。事前にご連絡ください。

## カレッジ生インタビュー！ 20期生 中村一騎さん（26歳）に聞く。

### 4年間働いた靴屋を辞め、思い切って大工の道へ！



文系の大学卒業後、大手靴専門店販売をしていました。4年間勤務し、店舗の責任者になっていました。将来性を感じられず、叔父が経営する工務店に転職しました。高校一年からのアルバイト先だったので、不安はありませんでした。そして入社してすぐに、カレッジの宣伝物を渡されて、学校見学なしで入学しました。

道具の手入れから始まる授業はとても新鮮。色々な授業のつながりも見えてきました。一人で現場に出れる実力を早く身に付けたいです。

## 夏のビッグイベント！

### 7月11日に第1回合同OJT報告会

建築カレッジは、毎日の日報や課題リポートの提出により、自分が習ったことや授業の感想を他人に正しく伝える実用日本語力を鍛えています。字が汚くても、漢字が間違っていて、も、とにかく毎日書く、その反復訓練が、コミュニケーション能力を高める土台を築くという考えからです。

## 各自の日々の仕事を発表

大勢の前で、自分の日々の仕事を誰にも分かりやすく説明し、今後の課題を報告する機会もあります。それが、1、2年生が一緒に集まる「合同OJT（現場教育）報告会」です。技術・技能だけでなく、「生きる力」を向上させるカレッジの教育の値打ちを実感できます。興味がある方はぜひ見学してください。7月11日（土）午後、行います。

## 住宅デーとカレッジ生

東京建築カレッジのカリキュラムには、母体である東京土建一般労働組合の各支部が全都で開催する「住宅デー」が記載され、カレッジ生に積極的な参加を呼びかけています。

カレッジ派遣事業主さんの中には、新人教育のに位置づけているところもあります。村山大和支部・野山北分会の吉田重男さん（M・K・O社長）は、新入社員の石川瑛子さん（第20期生、=写真中央）に、包丁砥ぎの受付と子ども工作教室を担当させました。「子どもに囲まれて、とても楽しそうに作業していた。行動を見れば、カレッジで自信がついてきたこともわかる」と吉田さん。



## 今年の林業実習は、7月25日（土）！

2年生（第19期生）が斜度45度近い山林で下草刈りを体験します。受け入れ先のご都合で真夏の授業に。猛暑とズメバチがちょっと心配!? 先生も、事務局も、頑張ります！